

山風

やまかぜ

平成21年1月1日

冬号 第37号

発行：日蓮宗 本立寺

〒192-0902

東京都八王子市上野町11-1

電話 042-622-2262

FAX 042-622-2106

Eメール honryuji@oak.ocn.ne.jp

ホームページ http://www.honryuji.com

良縁をいただく方法

住職 及川玄一

明けましておめでとございます。新しい一年が始まります。本年もよろしくお願いたします。

私たちは常に流れる時間の中に身を置き、私たち自身も常に変化しています。しかし、どのように私たちが変わっても変わらぬものもあります。真理といわれるものがそうです。

仏教では『縁起』という真理を説きます。物事には必ず原因があるということです。ただし原因には二つあり、直接の原因と間接的原因があります。直接の原因が『因』、間接的原因が『縁』です。二つ合わせると『因縁』となりますが、良い結果には良い縁が必要という考えです。

例えばマッチで火をつける時、軸を擦って火をつけますが、軸を擦るといことが原因で、火がつくということが結果です。しかし、マッチで火をつけるといった簡単なことでも良い縁がなければ火はつきません。この場合の良い縁とはマッチ

がつく要因、例えば適度に乾燥しているとか、風が吹いていないなどといった条件が与えられているということです。もし、水の中(悪縁)で同じことをしても火はつきません。



水行。寒一百日、11月1日から2月10日までの朝6時、修行僧によって水行が行われています。

このようにして私たちが何か結果を求める時、縁という要素はとも大切な役割を果たします。ではどうすれば良い縁をいただくことができるのでしょうか。答えはひとつしかありません。それは自分が人に対して良い縁を与えることです。貰うことばかり考えたり、与えることを少しもしないところに良い縁は訪れてこないのです。どうかそのことをよくご理解下さい。

そして、もう一つ難しい注文です。もし良いことをしたならばそのことを忘れて下さい。これが大事なことです。良い行いを忘れることができないのが私たちの悪い性質です。悪い行いはどんなに大きなことでも忘れ、良いことは大

したことではなくてもいつまでも憶えていて恩に着せる。それではいつまでたっても良い縁が近づいてきません。与えたものを忘れるという、そういう行いが本当の値打ちを大きくし、良縁に恵まれ、良い結果をいただくということに導いてくれるのです。

新年のごあいさつ

明けましておめでとございます。

檀信徒の皆様には常日頃より当山に対し格段のご協力を賜り、誠にありがとうございます。

お陰さまで昨年中の諸行事等全て滞りなく終了し、ここに新たな年を迎えることができました。本年も本立寺の護持興隆のため総代・世話人一同努力してまいりますので、どうか引き続きご協力をお願い申し上げます。



総代 小宮 真治

川村 真

矢崎 利昭

安藤 謙治

小川 愛子

世話人一同

見宝塔品

第十一

「見宝塔品」は私たちがよく読む「欲令衆の最後」その時に宝塔の中より大音声をして「や宝塔偈、此経難持…」が説かれていた法華經の第十一章です。

このお経では、お釈迦様が「自身の涅槃（お亡くなりになった）の後、法華經を弘める者、すなわち後継者の出現を願われます。

あるときお釈迦様が説法をされていると、にわかには地中から大きな塔が現れ、お釈迦様の目の前でその扉が開き多宝如来という仏様が「なんてすばらしい教えだ。あなたの説く法はまちがいない。真実である」と讃える声が聞こえます。そして、多宝如来はお釈迦様を宝塔に迎え入れます。（本立寺の本堂の正面、須弥壇の一番高いところに二人の仏様が並んでお座りになつて居るのは、この時の様子を表しています。）

宝塔の多宝如来の横に座したお釈迦様は「自分の入滅（涅槃）の後に法華經を弘めることはとても困難なことではあるが、だれかその役を担う者はいないかと十方に向つて呼びかけられます。すると信じられないことに次から次へと多くの菩薩たちが「こそはと名のり出ます。お釈迦様の心配は解消されたのです。」

お釈迦様の後継者である菩薩の筆頭は上行菩薩です。日蓮聖人は時空を超えたお釈迦様の後継者として、また自身を鼓舞するために末法の世においては自分が上行菩薩となつて法華經を弘めることを誓われました。そして、たしかに聖人は法華經の流布に命を捧げられました。



本立寺本堂の須弥壇

多宝如来によつて普め讀えられたその教えも継承する者がなくては後世に伝えられません。お釈迦さまの入滅からおよそ二千五百年を経て、今もなおその教えが残されています。これはその時代時代に多くの菩薩が出現したことの証でもありまじゅう。そして今の時代にも一人でも多くの菩薩の出現が待たれています。

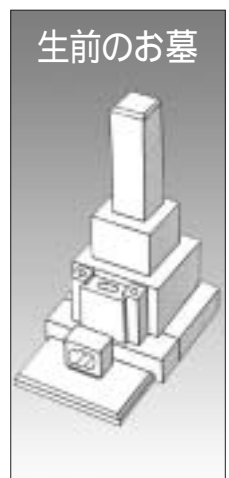
(吉)

学無学

おしえて下さい。

Q 生前に自分のお墓を建てることを考えているのですが、建てるよいものでしょうか？

A 建てるもかまいません。生前にお墓を建てる「早死にする」「縁起が悪い」などと聞く事があります



生前のお墓

が、自分や家族の死後の準備をしておくことは至極当然のことのように思っています。また多くの方が実際にそのようになつて居ます。生前に建てるお墓のことを「寿墓」といい、長寿や一族の繁栄を願う縁起のいいお墓とされています。寿墓の歴史は古く、「日本書紀」や「聖徳太子伝歴」には、聖徳太子

や蘇我入鹿が生前に自分のお墓を建てた記録があります。

地場産業の活性化

ニユースト
行事案内

平成十九年から本立寺の塔婆は奥多摩産杉材を使用しています。

産業として山が生かされれば、土砂崩れや洪水などの防災や花粉症の対策にも



奥多摩杉使用

なり、地場産業の活性化にも繋がります。また、外国の天然林の減少も防ぎます。日本の杉材は外国産に比べて色や木目などで多少劣りますが、皆さまの「理解」協力をお願いいたします。

本立寺カレンダー



日頃の感謝の気持ちを込め、本立寺の年間行事入りカレンダーを発送させていただきます。行事の日程を確認しつつひとりでも多くの方にお参りいただけますようお願いいたします。

本立寺ホームページ <http://www.honryuji.com>

「読経教室」「法華経写経会」今年の予定

平成21年は左記の日程で行います。読経教室の初級では、お経を読むときの姿勢、声の出し方、正しい合掌などの基礎を中心に、「妙法蓮華経」の意味や読み方を学びます。(中級は初級修了者対象)また、写経会ではお寺の静かな本堂で、お香の香りでお身を浄めて経文と向かい合います。

お気軽にご参加下さい。

読経教室 初級(全5回)

春	
1回	5月4日(月)
2回	5月11日(月)
3回	5月18日(月)
4回	5月25日(月)
5回	6月1日(月)
秋	
1回	10月18日(日)
2回	10月25日(日)
3回	11月1日(日)
4回	11月8日(日)
5回	11月15日(日)

読経教室 中級(全5回)

春	
1回	3月28日(土)
2回	4月4日(土)
3回	4月11日(土)
4回	4月18日(土)
5回	4月25日(土)
秋	
1回	8月18日(火)
2回	8月25日(火)
3回	9月1日(火)
4回	9月8日(火)
5回	9月15日(火)

法華経写経会

(1月は無し)

2月5日(木)
3月5日(木)
4月3日(金)
5月7日(木)
6月4日(木)
7月3日(金)
8月6日(木)
9月3日(木)
10月1日(木)
11月5日(木)
12月3日(木)

いのちに合掌

5のり題目の日

去る平成20年10月28日今年で5年目となる「いのり題目の日」が杉並区堀ノ内妙法寺で行われました。都内各寺院から総勢458名(僧侶含む)が集まり、本立寺から参加した34名の方々とともに杉並区中道



寺山形上人の法話を聴き、引続きうちわ太鼓をたたき30分間の唱題行をして「世界の平和を祈る」法要を行いました。

成道会

12月8日はお釈迦様がお悟りを開いた日です。これを記念し、11月14日八王子市仏教協会主催による成道会が高尾山薬王院で行われ本立寺からも15名の方がご参列下さいました。お釈迦様のご遺骨の一部



を納めた仏舎利塔に於いて法要が営まれ、薬王院の本堂では護摩が修法されました。その後、参列した檀信徒の皆さまと美味しい料りをいただきました。

平成二十年秋

「読経教室」修了者

昨年の秋の読経教室初級・中級各コースの修了者は次の方々です。修了者には本立寺特製のバッジが授与されました。

初級コース

太田 亨子 早崎 明子 深山 順子

中級コース

木村 陽二 三枝 玲美 鈴木 斌
山崎 マツエ 霜村 五十恵 坂本 秀明
安田 直子 江口 直司 深山 順子

以上9名

受講の皆さまに苦勞様でした。

「ねはん会の集い」ご案内

2月15日はお釈迦さまがお亡くなりになった涅槃の日です。この日にちなみ、八王子市仏教協会では「ねはん会の集い」を次の通り行います。是非、ご参加下さい。

日時 2月5日(木) 午後1時より
場所 八王子市「いちようホール」

- ・第一部 涅槃会法要
- ・第二部 法話 奈良薬師寺管主



安田暎胤師
「豊かな心」

- ・第三部 演奏 クーペ&shifo
50歳過ぎたら
心と身体に効くコンサート



八王子七福神めぐり

昨年まで上野町の金剛院に「福寿録」「寿老尊」の2柱の神様を奉安していましたが、本年の正月より宗格院が「寿老尊」のお寺として、「八王子七福神めぐり」に仲間入りをしました。

この宗格院も当山と同じ千人同心ゆかりのお寺の一つで、千人同心組頭松本斗機蔵の墓や石見土手があります。ぜひ一度歩いてみてください。

福運招引

今年も一年良い年でありますように...

JR八王子駅南口

10分

本立寺 毘沙門天 八王子市上野町 11 1

7分

伝法院 恵比寿天 八王子市南新町 4

7分

金剛院 福祿寿 八王子市上野町 39 2

7分

信松院 布袋尊 八王子市台町 3 18 28

15分

善龍寺 走大黒天 八王子市元本郷町 1 1 9

15分

了法寺 新護弁財天 八王子市日吉町 2 1

10分

宗格院 寿老尊 八王子市千人町 2 14 18

10分

吉祥院 吉祥天 八王子市長房長 58 3

15分

JR西八王子駅



年回法要

亡くなった方のご命日に営む法要を年回法要または年忌法要と言います。一般に法事と呼ばれているものです。

法事は、亡き人を偲び、その人の冥福(冥土の幸福)や成仏(仏と成る)を祈る大切な仏事です。亡き人は皆さまから受ける供養を心待ちにしているのです。

平成二十一年 年回表

一周忌	平成二十年
三回忌	平成十九年
七回忌	平成十五年
十三回忌	平成九年
十七回忌	平成五年
二十三回忌	昭和六十二年
二十七回忌	昭和五十八年
三十三回忌	昭和五十二年
三十七回忌	昭和四十八年
四十三回忌	昭和四十二年
四十七回忌	昭和三十八年
五十回忌	昭和三十五年
百回忌	明治四十三年

生前お世話になった人に対し感謝や恩返しをする意味でも忘れずに執り行いたいものです。今年法事にあたる方は表の通りです。なお、ご法事を行う場合は、お早めにお寺まで日時等をご相談下さい。

暦

こよみ

1月 (睦月)

- 1日 午前7時 元旦 修正会
- 12日 午後7時 初題目講(ヒング大会)
- 22日 午後2時 読誦行



2月 (如月)

- 2日 午後2時 読誦行
- 5日 午後2時 写経会
- 12日 午後7時 題目講
- 15日 釈尊涅槃会
- 16日 午前7時 宗祖降誕会
- 22日 午後2時 読誦行



3月 (弥生)

- 2日 午後2時 読誦行
- 5日 午後2時 写経会
- 12日 午後7時 題目講
- 17日 23日 春季彼岸
- 28日 読経教室 中級開始



希望者募集



墓地・室内墓

ただいま当山に墓地をお求めになる方(永代使用者)、並びに、釈迦堂内の「室内墓」を使用なさる方を募集しています。お気軽にご相談下さい。

永代供養塔

現在ある先祖代々の墓を将来継承することが出来ない方や新たに墓を作っても後継者がいない方のための共同の墓所が釈迦堂に併設される「永代供養塔」です。この供養塔に埋葬された方のご供養は、お寺が永代に渡って責任を持って行います。ご使用に当たっては永代供養料をお納めいただくこととなります。

納骨壇

ご遺骨を一時的にお預かりするための「納骨壇」が釈迦堂内に設置されています。この納骨壇は檀家以外の方もご利用いただくことができます。

お問い合わせは寺務所までお願いいたします。